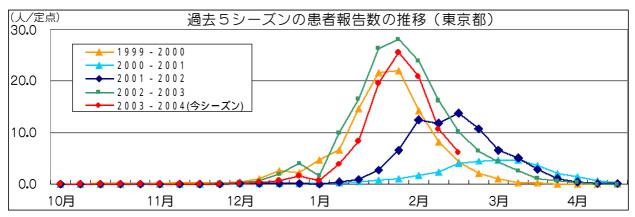


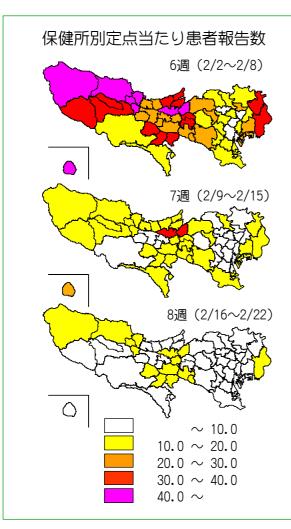
東京都健康安全研究センター

内容

流行状況:東京都の流行状況/東京都と全国の検査情報/全国の流行状況

流行状況





1 東京都の流行状況

第8週($2/16\sim2/22$)のインフルエンザ 患者報告数は東京都で1,083人(インフルエンザ定点*当たり6.08人)と、ピーク時の約1/4まで減少しました。全国の報告数も74,828人(同15.90人)と先週から更に減少しています。

多摩小平保健所管内の小平市と西東京市でも報告数が更に減少し、定点当たり16.00人となりましたが、依然都内で最高になっています。

*:インフルエンザの流行状況を把握するための定点医療機関です。東京都では178か所、全国では約5,000か所あります。

「インフルエンザ、SARS相談窓口」

• 開設時期:

平成15年10月20日~平成16年3月19日

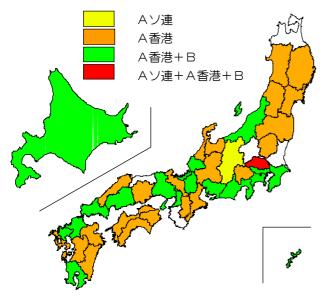
• 対応日時:月曜日~金曜日(祝日除く)

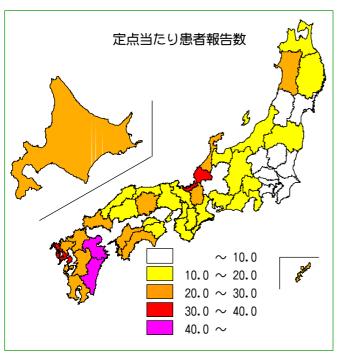
午前9時30分~午後5時 •電話番号:03-3200-6784 •FAX番号:03-3200-5209

• E-mail : inful@npo-bmsa.org

※厚生労働省がNPO法人バイオメディカルサイエンス (バムサ) に相談窓口を設置しています。

定点医療機関からの検出状況					
週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			A ソ連	A香港	В
52週以前(-12/28)	135	25	0	25	0
1週 (12/29-01/04)	3	1	0	1	0
2週 (01/05-01/11)	33	3	0	3	0
3週 (01/12-01/18)	32	15	0	15	0
4週 (01/19-01/25)	50	25	0	24	1
5週 (01/26-02/01)	40	18	0	18	0
6週 (02/02-02/08)	47	31	0	31	0
7週 (02/09-02/15)	47	23	0	23	0
8週 (02/16-02/22)	26	13	0	13	0
計	413	154	0	153	1





2 東京都と全国の検査情報

2月26日現在、上気道炎等で定点医療機関から搬入されている検体413件中153件からA香港型が、1件からB型がPCR法で検出されています。Aソ連型は検出されていません。

1月末までに、保健所から30事例の集団発生(学級閉鎖)の検体が搬入されており、27事例66検体からA香港型がPCR法で検出されています。2月に検体搬入はありませんでした。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、2月23日までに、41都道府県からA香港型、18都道府県からB型、2県からAソ連型が報告されています。

3 全国の流行状況

第8週 (2/9~2/15) の全国の流行状況 を示しました。現在、関東近県以外で流 行していることがわかります。

定点当たり40人を超えているのは、宮 崎(46.8)・大分(42.7)の2県です。

インフルエンザ流行のピークは過ぎましたが、まだ油断はできません。うがいや手洗いの励行などの予防対策が必要です。

◆インフルエンザ 情報 ◆

編集•発行

東京都健康安全研究センター 東京都感染症情報センター (微生物部疫学情報室) 微生物部ウイルス研究科 多摩支所微生物研究科 〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1 TEL:03-3363-3213 FAX:03-5332-7365 idsc@tokvo-eiken.go.ip

idsc@tokyo-eiken.go.jp http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/



古紙配合率70%再生紙を使用しています